



実践発表



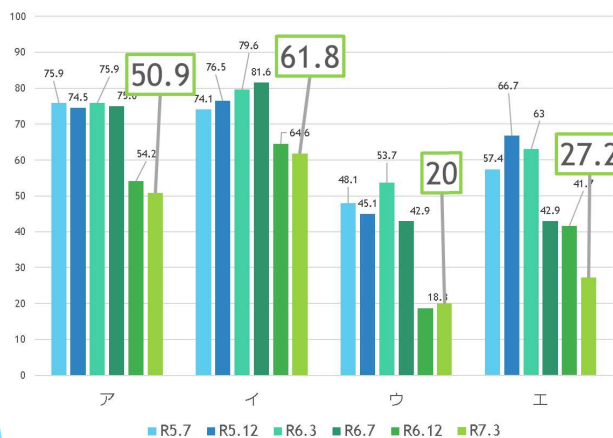
御殿場市立東小学校

東小学校の実践概要

- I 令和6年度末プランニングシートの分析
- II 令和7年度1学期のプランニングシートを作成
- ★ 久我先生による指導・助言
- III 令和7年度2学期のプランニングシートを作成
- IV 令和7年度3学期のプランニングシートを作成

I 令和6年度末プランニングシートの分析

1 【東小第5学年質問項目の調査結果】



児童のアンケート質問項目

- ア 学校が楽しい
- イ みんなで何かをするのは楽しい
- ウ 授業に主体的に取り組んでいる
- エ 授業がよく分かる

2 【課題分析】

「ウ授業に主体的に取り組んでいる」の数値が30～40%になると見積もったが、20%だった。3学期は学年のまとめや6年生の卒業に関する内容の指導を重点的に行った。2学期と同様に授業中の発表が少なく、発表が少ないと主体的ではないと誤解している子供もいるため、弱肯定に回答した児童が多くなったと考えられる。卒業関係の行事では、自分事として考えられないという5年生の実態もあるため強肯定率を高めるのは厳しいという見方もできる。

学年部で「子供の实態を捉える」

- ①自己理解（得意・不得意）が進んでいる。
- ②子供同士の暴言が多い。
- ③友達の目を意識して生活している。
- ④仕事を熱心に取り組んでいる。
- ⑤学級の枠を超えて交流するが、人間関係が固定化している。
- ⑥授業では発言が少ないが、あきらめずに取り組もうとしたり、丁寧にノートにまとめようとしたりする。
- ⑦やりたいという気持ちを行動に移すことができない。
- ⑧大人の言葉に過敏に反応する。大きな声での指導や叱責は響かない。
- ⑨教師とコミュニケーションを取りたいと思っている子供が多い。

子供の实態を目標設定に組み込む。



3 【目標設定】

児童の实態を焦点化

○「授業に主体的に取り組んでいる20%」

○⑥授業では発言が少ないが、あきらめずに取り組もうとしたり、丁寧にノートにまとめようとしたりする。

学年部で
共通理解



数値は20%ですね。

でも一生懸命に取り組んでいる。



「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」の強肯定率27%を目指す。

4 【目標達成に向けての5月～7月の具体的取組】

4月 中旬

- ・なぜ主体性の数値が低くなっているのかを把握し、より有効な手立てを考えていく。

教師と子供の主体性の捉えが違っているのかもしれない

授業の課題が理解できていないのかもしれない



子供にとって魅力的な授業になっていないのかもしれない

子供が活動する時間が短いかもしれない

プランニングの日々



5月 初旬

- ・この子供たちは本当に主体性が低いのだろうか？
- ・図工では、完成作品を提示したら一生懸命作品作りに取り組んでいた。
- ・子供同士で相談したり、意見をまとめたりする時間を設定するとよく話し合っていた。

- ・子供が興味関心を高めるような導入の場面を設定する必要がある。
- ・友達と対話しながら、課題を解決する授業の形式にする必要がある。

5 【月別の取組計画】

	全体	学年
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・交通安全リーダーと語る会準備 ・遠足 ・修学旅行に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育：フラッグダンスとソーラン節を完成させよう」6年生が5年生にソーラン節を教える活動を実施する。 (自己決定の場の提供) ・「総合的な学習の時間：交通安全リーダーとしてできること」交通安全リーダーとしてできることについて子供たちの考えを取りまとめながら、子供が必要だと思う活動を展開していく。 (自己決定の場の提供) ・「学活：修学旅行に向けて」修学旅行の行先を決める活動を行う。子供に行先の選択肢を示す。選択した場所の魅力を調べ、調べたことを発表し合うことで旅行先を決定する。 (自己決定の場の提供)

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全リーダーと語る会 ・修学旅行に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間：交通安全リーダーとしてできること」語る会の準備をグループで進める中で、共感的な人間関係を育んでほしいと考えている。 (共感的な人間関係の育成) ・「家庭科できることをふやしてクッキング」友達と手順や役割を決めたり、実際に調理実習を進めたりすることを通して、共感的な人間関係を育めようになりたい。 (共感的な人間関係育成) ・図工「夢中で〇〇するわたし」子供たちが教材の魅力を感じられるような導入を行うことで、作品作りを進めたいという気持ちを引き出していく。各時間で、子供と課題を共有したり、振り返りを行ったりすることで、主体的に学習に取り組む態度を引き出していきたい。また、鑑賞の時間を設定し、子供同士が認め合える時間となるようにしたい。 (自己決定の場の提供) (安心安全な風土の醸成)
----	--	--

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・終業式 ・修学旅行に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学活：修学旅行の行先を決めよう。」修学旅行先の方面が決定したことを受け、どこにいきたいのかを具体的に決める活動を行う。子供たちが調べたことを発表する場を設けるようにする。子供同士の発表を基に、投票を行い、行先を決定する。 (自己決定の場の提供)
----	---	--

6 【授業実践紹介】

教科：図画工作

単元名：夢中で〇〇するわたし



子供たちが教材の魅力を感じられるような導入



- ① 芯材を写真のようなポーズにする
- ② 芯材で自由にポーズを作る
- ③ 過去の作品を見る



図①



図②Aさんの作品



図③

振り返り

1 どんなポーズをとっているか？

バドミントンしてるスマッシュ
相手に手を上に上げてサーブを打つ
上を向いている
ポニーテール



② Bさん

何をどのようにしているところを表すか？

バドミントンをやっている様子
スマッシュする瞬間

教材の魅力を感じられるような導入や振り返りの場を設定することで、これからどんな作品を作りたいかという見通しを持つことができた。

2 どんな服を着ているか？身に着けている物は？

ジャージ
帽子
羽
ラケット

3 どんなところにいるか？周りにはどんなものがある？

外
芝生

鑑賞の時間を設定し、子供同士が認め合える時間となるようにしたい。



バドをやっているところなんだね！羽の再現力がすごくて、本当にスマッシュを打っているみたい。Aさんそっくりに作ってあってすごいと思う。

Bさんと同じように、粘土以外に布やモールを使って作品が作られているのが面白いなと思いました。

鑑賞の活動を通して、安心安全な風土の醸成につながった。

★ 久我先生による指導・助言



1 【居心地の良い学校づくりのための「キーワード」】



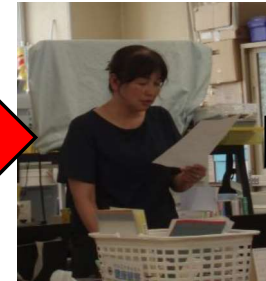
- 子供が使う言葉の環境を整える
- 人間関係の力は経験値
- 自分に良いところがあると思える
- 子供は心が整うと力が発揮できる
- 勇気付け教育の組織的展開
- 子供の問題を学びの場とする
- 愛着形成は誰が行っても良い
- 勇気付けの言葉に無駄打ちなし
- ハイパフォーマーの先生の指導を参考に

Ⅲ 令和7年度2学期のプランニングシートを作成

1 【久我先生による指導・助言を受けてプランニングシート全体研修会】



プランニングシート
作成方針の共有

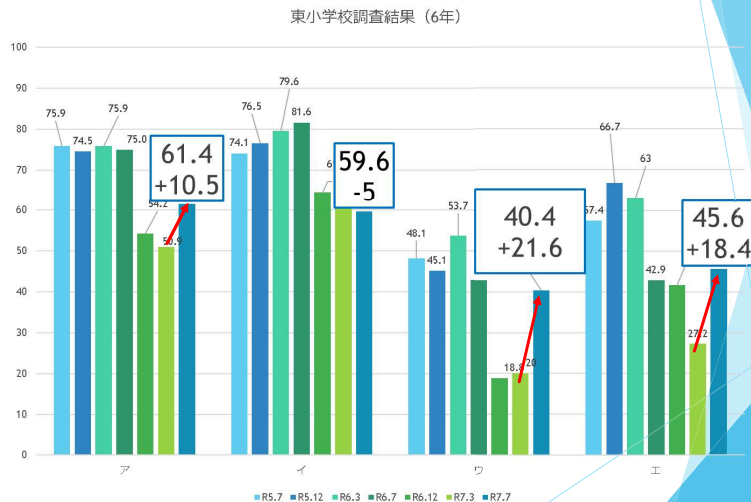


ハイパフォーマーの
指導を共有



全教員でプランニング
シートの作成

2 【1学期の取組の結果】



3 【各学年のプランニングシート】（1年部）

8 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで遊ぶ日③ ・学活「ぼかぼかことばと ちくちくことば」 言われてうれしい言葉と傷つく言葉を共有することで、よりよい友達との関わり方に気付かせる。（安心安全な風土の醸成）
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学活「【SEL】よいところを みつけよう」 互いのよさを見つけ伝え合うことで、自己肯定感を高められるようにする。（自己存在感の感受への配慮）
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走チャレンジ ・ドリルチャレンジ ・生活科「きせつとなかよし（あき）」 学級の枠を超えて表れの良い子を積極的に誉めることで、自分のよさに気付かせる。（自己存在感の感受への配慮）

(3年部)

	全体	学年
8・9月	社会科見学	学活「NGワード、Happyワード」 言われてうれしい言葉、悲しい言葉を学級で話し合う。日々の振り返りを継続して行い、子供たちの中でHappyワードが浸透していくようにしたい。(ア 自己存在感の感受への配慮 安心・安全な風土の醸成)

(6年部)

全体	学年
2学期を通して取り組むこと	・NGワードを無くす。学級内で言われたくない言葉や、聞きたくない言葉を子供から聞き取る。その言葉がなくなるように学級で取り組んでいく。 ・ありがとうを増やす。学級内でありがとうと思ったことや、言われたことを発表したり、記録したりする活動を行う。

特別活動部



研究の成果と課題

- 目的を明確にした教育活動の設定
- 子供の成長を肯定的に見取る力の向上
- 前期学校評価の数値の向上

- △より強肯定率を高める
- △絆づくり、居場所作りを進めるためのカリキュラムマネジメント



御清聴ありがとうございました

